



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

キャリア教育の推進のための「ユメココ教室」

～青森県教育支援プラットフォーム下北地区実行委員会～

今年度も、7月～12月にかけて、職業人による仕事体験出前授業「ユメココ教室」が開催されました。延べ40人の講師の方々から、管内6小学校235人の児童が貴重な学びを得ることができました。今年度、新たに8つの企業・団体等に御協力いただきました。

東北電力 むつ電力センター	STREET DANCE STUDIO JACKBOX	特別養護老人ホーム くろまつ
大畑八幡宮	むつ市海と森 ふれあい体験館	野牛 漁業協同組合
青森放送(株) むつ支局	むつ市役所	教育支援 活動推進員募集 学校や子どもたちへの支援活動に興味のある方は委員長の竹園正敏さんに連絡してください。 連絡先：29-1861

令和5年度あおもりキャリア教育応援企業表彰 アイン薬局東通村店が受賞

昨年、10月27日(金)に青森県総合社会教育センターにおいて、「地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム」が開催され、「あおもりキャリア教育応援企業」として、「アイン薬局東通村店」が表彰されました。



これまで、管内の小学校で行われた「ユメココ教室」やむつ市中央公民館で開催されている「GOOD JOB!」への協力等、積極的な取組が評価されました。

令和5年度 地域課題解決フォローアップ研修会

～2月28日(水) 大間町役場～

「社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業」の一環として、管内市町村への事業成果の波及と社会教育関係職員の資質・能力向上を図るため、開催までの過程やイベントの様子について実践発表を行いました。

県からの委託を受けた大間郷土活性化委員会「よりっとこ」が、「よりよい郷土(地域)にしたい」という想いのもと、地域人財のネットワーク構築と地域住民の交流の場を創出するため、昨年11月26日(日)に大間町総合開発センターを会場に開催した活動の様子を紹介します。

【実践発表から】

☆事業の実践まで

○開催までに、実行委員会を4回実施した他、SNSで情報共有するなどして計画を進めていった。

☆イベントの開催

○当日は、実行委員長・副委員長が避難経路やAEDの設置場所、役割分担等を確認してから開催しました。

○体験ブース(電源開発)



○飲食ブース(食生活改善委員会)



○健康ブース(明治安田生命)



○遊びブース(地域団体ツナグ)



●高校生ボランティアの活躍



大間高校の生徒12名が参加し、3人ずつ4グループに分かれ、輪番に各ブースのお手伝いに入りました。自分の郷土について考えるよい機会となりました。

○この他にも、salon「ano ano」、「フリーマーケット」、「野菜の販売」も行いました。多数の団体がネットワークを構築できたイベントとなりました。

☆来場者からの声

・「もっとこういう機会を増やしてほしい。」「屋外でも遊べる空間があればよい。」等、継続を求める声が多く上がっていました。

放課後子ども総合プラン支援員等研修会(後期)

～10月18日(水) むつマエダアリーナ～

放課後児童支援員、放課後児童クラブ関係者等を対象に、放課後子ども総合プラン支援員等研修会(後期)を開催しました。

【第1部】: 支援員の役割と機能

説明: 「地域学校協働活動を支える支援員の役割、存在意義」

講師: 青森県教育庁生涯学習課

主任社会教育主事 工藤 健夫 氏



【講師から】

☆自分の経験から、充実した教室・クラブ運営のために

- 1 ユニバーサルデザイン(UD)の環境づくりをし、寄り添った見守り
 - 2 保護者と一緒に取り組むという姿勢で
 - 3 学校と連携した関係の構築を
- 等、支援員の方々に参考となる説明をしていただきました。

【第2部】: 活動プログラム(体を動かす活動)

講義・演習: 「レッツ エンジョイ 運動遊び」

講師: むつ市ウェルネスパーク

インストラクター 黒田 英知 氏

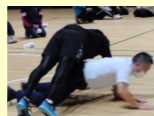


☆筋力、敏捷性、跳躍力、瞬発力等の向上のために

(文部科学省 幼児期運動指針ガイドブック等を参照)

- 1 とんねるジャンプ・くまとんねる

※跳んだりくぐったりする運動



- 2 おとすなバレ

※ビニール袋を膨らませ、投げ上げてキャッチしたり、打ち合ったりする運動



○子どもたちが楽しめる運動をたくさん紹介

していただきました。参加者自身にとってもよい運動の機会となり、外での活動ができない雨天や冬場に取り入れていきたいという声が上がっていました。